

# 今後の人材開発政策の在り方に関する研究会論点整理(案)

参考資料 5

## 現状認識

- 新型コロナウイルス感染症の影響により「新たな日常」の下で見込まれる労働需要の構造変化への対応が求められている。さらに、Society5.0の実現に向け、今後不足が見込まれるAI等<sup>II</sup>等のデジタル技術を活用できる人材の育成が不可欠。
- 不本意な就職を繰り返す方や長期にわたり無業の状態にある方など就職に課題を抱える方が現在もあり、さらに新型コロナウイルス感染症の影響による雇用情勢の厳しい先行きも予測。
- 人生100年時代を迎え、職業人生が長期化、働き方は一層多様化。スキルアップ・キャリアチェンジの支援が必要。日本型雇用の変化や、ジョブ型雇用の広がりも予測。



## 今後の方向性

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた「新たな日常」の下で必要とされるデジタル技術を活用できる人材を育成するため労働者のリスキリング(再教育)やスキルアップ(学び直し)支援を強化。
- 雇用情勢や地域の人材ニーズも踏まえた職業訓練の実施。就職やキャリアアップに特別な配慮を必要とする方に対する、それぞれの課題に応じた職業能力開発・キャリア形成支援を推進。
- 労働者が企業への依存から脱却し、主体的にキャリアプランを立て、在職中・離職中を問わず、学び続けることのできる環境を整備。
- 新たな産業・地域のニーズに対応した職業能力評価制度を再構築。

### Society5.0の実現に向けたデジタル利活用人材の育成

- **デジタル技術の進展に対応した人材育成**
  - Society5.0時代に向けた、AIやIoT、ビッグデータ等の第四次産業革命に対応した職業訓練プログラムの実施
  - 社会人に対する基礎的ITリテラシーの習得促進
- **職業訓練現場におけるデジタル化の推進**
- **新たな技能振興と技能五輪国際大会の日本への招致**

### 「新たな日常」と労働市場の変化を踏まえた人材開発施策の推進

- **オンラインによる職業訓練の推進**
- **労働市場の状況変化に対応した離職者訓練及び求職者支援訓練の実施**
- **就職氷河期世代の区切りに縛られることなく、就職やキャリアアップに特別な配慮を必要とする方への支援を広げる**
  - 中高年齢者を対象とした職業訓練の推進
  - 在職障害者の職業能力開発の推進 等

### 労働者の脱企業依存・主体的なキャリア形成支援

- **国及び都道府県による積極的な在職者の職業能力開発支援**
  - リカレント教育の推進
- **民間教育訓練機関の提供する職業訓練サービスの質の確保・向上の取組支援**
- **キャリアコンサルティングを利用しやすい環境の整備**
  - キャリアコンサルタントの専門化・多様化
  - ジョブ・カードのデジタル化・普及促進

### 新たなニーズに対応するための職業能力評価制度の再構築

- **職業能力評価制度の再構築**
  - 技能検定・職業能力評価基準等の効率的な構築
  - 技能検定の円滑な実施
  - 地場産業を支える地域限定職業能力検定の枠組みの検討
- **社員のスキルアップを職責や給与、配置等の処遇に反映している好事例の展開**